



〒975-0031
 福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
 TEL:(0244)26-1315
 FAX(0244)26-1318
 E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業 令和5年度 相双域内表彰式

最優秀作品 (絆部門)

石神二小 二年 北内 康裕
 おてつだい おさらあらいは まかせてね
 母 北内 安有美
 キッチンに ふみ台ひとつ 笑みふたつ

優秀作品 (ふるさと部門)

山上小 四年 伊藤 新一郎
 野馬おいに ぼくも出たいな とうさんと
 父 伊藤 貴之
 背に指した 旗の重さも 伝えたい

優秀作品 (絆部門)

鹿島中 三年 高田 ゆき
 ふるさとを どこか知らずに 十二年
 母 高田 真喜子
 あの日から 行く先々が ふるさとに
 祖母 大槻 さくら
 置き忘れ スマホさがしは 孫だのみ
 中村一中 二年 大槻 雄史
 またきたか 呼びだし音で 捜査隊

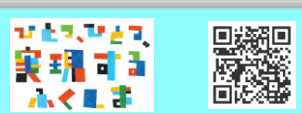
佳作作品 (絆部門)

鹿島小 一年 亀井 莉音
 らんどせる わたしといっしょに なつやすみ
 母 亀井 朋美
 ピカピカも 板についたね いちねんせい

佳作作品 (ふるさと部門)

広野小 三年 石井 杏奈
 冬が来る みんな大好き みかんがり
 母 石井 美和子
 海の町 みかんの丘と 赤とんぼ

向陽中 一年 唯野 愛夏
 父が言う 今なき磯部 みてみたい
 父 唯野 善広
 伝えたい 過ごした町の よきところ



令和5年度ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業

相双域内表彰式

1 目的 今年度の応募作品の中から、特に優れた作品を表彰することにより、異世代間の交流の促進や豊かな感性の醸成を図る。

2 日時 令和5年12月15日（金）16時00分～16時30分

3 場所 南相馬合同庁舎（南庁舎）401会議室

- (1) 開式のことば
 - (2) 表彰
 - (3) 主催者あいさつ
 - (4) 受賞者からの作品紹介
 - (5) 閉式のことば
- ～ 記念写真撮影 ～



表彰式当日には、最優秀賞受賞、優秀賞、佳作に入賞された6名の方に来ていただきました。式では表彰だけではなく、受賞された皆さんから作品の紹介もしていただきました。

「お皿洗いが上手にできたからです」

「お手伝いのお皿洗いを喜んでやってくれている姿が可愛くて微笑ましかったからです」

「いつもスマホを置き忘れてしまう。たよりにできるのは孫だけです」

「宝探しの遊び感覚で探してあげます。少したよりにされているかと思うとうれしいです」

「初めての夏休みだったからです」

「1学期も無事終わり、学校生活に慣れてきた様子が伺えていたからです」

今回は3組とも絆部門での受賞だったので、家族の絆の深さが表現できていることが改めて伝わってきました。このように作品に込められた気持ちや背景などを教えていただけると、この事業が持つ力を再確認することができました。

相双教育事務所ではこの十七字の絆ふれあい事業を日常的に活用していただき、お互いが感じた思いや願い、絆に関するエピソード、震災からの復興への願い、福島県へのエールなどを日々表現出来たら素敵だなと考えております。[学校向けのチラシ](#)も準備しましたので、よければご利用ください。

